

登録コード	L2630100	開講年度	2026				
担当教員	速水 香織			副担当			
授業科目	日本文学特論 I						
英文授業名	Japanese Literature: Specialized Study I						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	金曜・1時限
講義室	人文第1講義室		遠隔授業科目		読替科目		
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】		
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以前加修対象】過去の英知の批判的継承のうえに立って創造的な未来を切り拓く開拓力			⇔	過去の文献を精読し、理解することにより、時代の異なる異質な文化や考え方を受容する見識を養い、その見識に基づく自己の考えを明確に表現することができるようになる。		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降加修対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門の学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			⇔	過去の文献を精読し、理解することにより、時代の異なる異質な文化や考え方を受容する見識を養い、その見識に基づく自己の考えを明確に表現することができるようになる。		
	【2023年度以降加修対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】			⇔	過去の文献を精読し、理解することにより、時代の異なる異質な文化や考え方を受容する見識を養い、その見識に基づく自己の考えを明確に表現することができるようになる。		
授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	江戸時代は、町人勢力の拡大に伴い、それまでの時代とは異なる、いわゆる大衆文化が形成された時代として位置づけられます。本授業では、特に紀行文や名所記・道中記を取り上げ、その成立状況・内容を確認し、江戸時代以前から引き継がれてきた情報の摂取のあり方を概観したのち、それら文献の歴史的・文学史的な意義について考えます。その際、先行する古典作品、また当時の社会状況や出版メディアなどとの係わりをも視野にいれ、各文献を関連付けながら読み解くことによって、江戸時代の文化に対する理解を深めます。						
授業計画	第1回 ガイダンスとイントロダクション 第2回 近世以前の紀行文①中古の紀行文 第3回 近世以前の紀行文②中世の紀行文―特に女房日記に注目する 第4回 近世以前の紀行文③―特に巡礼に注目する 第5回 近世の紀行文①―いくつかの作品と成立（その1） 第6回 近世の紀行文②―いくつかの作品と成立（その2） 第7回 「名所記」の成立①―仮名草子作家・浅井了意について 第8回 「名所記」の成立②―浅井了意作『東海道名所紀』 第9回 近世前期の「旅行情報誌」①―道中記（その1） 第10回 近世前期の「旅行情報誌」②―道中記（その2） 第11回 近世前期の「旅行情報誌」③―道中記（その3） 第12回 旅行・地誌としての情報誌―和歌集などに及ぶ 第13回 近世後期の「名所図会」と関連作品群①―『木曾路名所図会』 第14回 近世後期の「名所図会」と関連作品群②―『伊勢参宮名所図会』 第15回 まとめ ※13-15回のいずれかにおいて、授業アンケートを実施します。						
成績評価の方法	毎回のコメントを含む平常点（40%）と中間・期末レポート（中間20%・期末40%）によって評価します。						
成績評価の基準	コメント：授業内容への言及・質問の内容によって授業の理解度や受講態度を判断します。 授業中の内容を自己の知識や知見と有機的に結び付け、かつ自身の学修に基づく優れた内容を述べることであれば「卓越している」、授業に関し具体的に優れた内容を述べることであれば「かなり上にある」、授業中の内容に関し具体的な内容を述べることであれば「やや上にある」、授業中の内容に触れた見解を述べることであれば「その水準にある」と評価します。 レポート：講義内容を把握・理解した上で、課題に関する、信憑性の高い根拠に基づく明確な自己の知見・見解を持つことを、成績評価の水準とします。これが卓越していれば秀、かなり上になれば優、やや上になれば良、水準には達していると認められれば可とします。						
事前事後学習の内容	授業中に適宜プリントを配布するので、それによって授業の予習を行うこと。また、授業中に様々な書籍を紹介するので、自己の興味・関心に従って積極的にそれらの作品に触れ、理解を深めることを事後学習とします。						
履修上の注意	毎時間、授業に対する意見や質問をコメントとして提出して戴きます。ただ漫然と授業を聞くだけでない、意欲的な姿勢を期待します。						
質問、相談への対応	木曜日12：10～13：00をオフィスアワーとします。必ず事前にメールでの連絡をお願いします。メールアドレスは、khayami@shinshu-u.ac.jpです。						
教科書	授業中に適宜プリントを配布します。						

参考書	新編日本古典文学全集64「仮名草子集」（谷協理史ほか編、小学館） 版本地誌大系（臨川書店、全20巻） ※いずれも購入の必要はありません。
-----	--